

【白井屋ホテル】米国の有名インテリア専門誌 AD (Architectural Digest) 初のホテルアワード受賞 白井屋ホテルが「2021 AD Great Design Hotel Award」を受賞

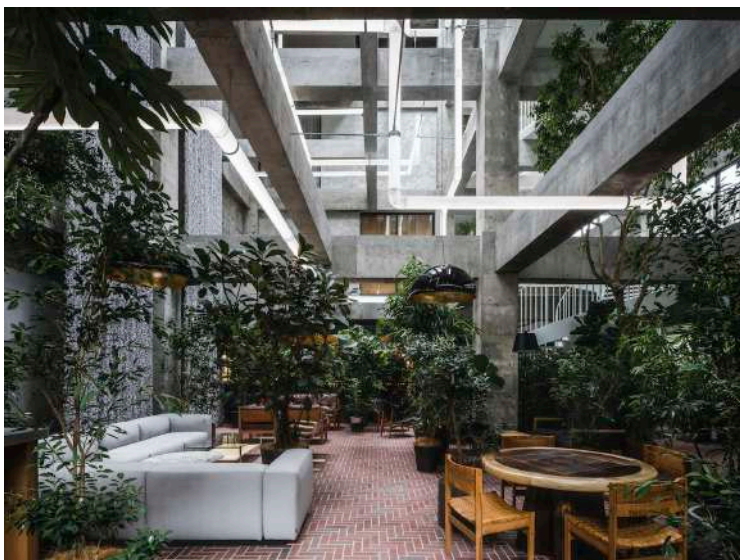
前橋のアートデスティネーション「白井屋ホテル」を運営する白井屋ホテル株式会社（群馬県前橋市本町、代表取締役：矢村功）は、このたび「白井屋ホテル」が、歴史ある米国の有名インテリア専門誌 AD (Architectural Digest) より、「2021 AD Great Design Hotel Award」を受賞しましたことをお知らせいたします。

米国ニューヨークを発祥とする多国籍マスメディア企業、コンデナスト・パブリケーションズが発行する、AD (Architectural Digest/アーキテクチュラル・ダイジェスト) は、1920年創刊の月刊インテリア専門誌で、80万以上の発行部数を誇ります。AD誌として初めて主催する賞である、「2021 AD Great Design Hotel Award」では、過去1年間に開業した世界中のホテルの中で特に優れた24軒のおもてなしのデスティネーションが選ばれました。

受賞対象ホテルは、AD 2021年6月号の特集記事に紹介されています。下記リンクをご覧ください。(英文記事)

AD's 2021 Hotel Awards リンク：bit.ly/3h8Sxw4

<https://www.architecturaldigest.com>



©Katsumasa Tanaka



©Shinya Kigure

かつて日本の絹産業の中心地であった前橋の歴史的な旅館の敷地に、建築家の藤本壮介が、既存の建物と自身がデザインした大胆な緑に覆われたタワーをひとつの芸術に満ちあふれた居場所につくりあげたことが高く評価されました。さらにローレンス・ウィナー、宮島達男などのアート作品、ジャスパー・モリソンやミケーレ・デルルッキなどによる客室のデザインなども含め、まさに唯一無二のホテルと紹介されました。白井屋ホテルの受賞ページには、藤本壮介がリノベーションした4層の吹き抜けに、レアンドロ・エルリッヒの光のパイプのインスタレーションが縦横無尽にみられる、植栽ゆたかなラウンジの画像を採用いただきました。

前橋のまちの活性化の礎となるべく、多くの方々のご協力をいただきながら2020年12月12日に開業した白井屋ホテルが、このような形でAD誌がてがける初の賞を受賞することとなり、大変誇らしく思いますと共に、地元のみならず、国内、そして近い将来海外からおいでくださるゲストのみならず心地よいリビングのような居場所をご提供するために、よりいっそう努力を積み重ねてまいります。

白井屋ホテル

371-0023 群馬県前橋市本町 2-2-15

027-231-4618

■メディアお問い合わせ先

pr@shiroiya.com

070-3858-7580 (PR 担当：守田美奈子)

画像リンク：<https://we.tl/t-QfwhJOhJVz>

■ホテルご利用のお問い合わせ先

info@shiroiya.com

白井屋ホテル 027-231-4618 (代表番号)